

2月11日(土)

第1会場

16:30~17:30

メインホール

不整脈専門医制度の概要と展望

## 【概要】

日本不整脈学会と日本心電学会は、2学会合同で学会認定不整脈専門医認定制度を立ち上げ、2012年度から専門医資格認定を開始する予定である。これに先立って、昨年9月から研修施設申請の受け付けを開始しており、本研究会が開催される頃には研修施設一覧が学会HP上に公開されているはずである。

さて昨今、厚生労働省と専門医評価・認定機構は専門医制度改革に着手している。本邦に数ある専門医制度の問題点として、各学会での専門医認定基準にばらつきがあり、また広告条件を満たさない団体が専門医を認定していることなどが挙げられている。これらの格差を是正すべく、厚労省から各専門医制度に対して中立的第三者機関が客観的な評価を行うようにとの通達がなされた。ここで第三者機関とは日本専門医制評価・認定機構に当たると考えられるが、機構では近年3階構造式の専門医制度、すなわち基幹領域（例：内科学）、第一次専門領域（Sub-speciality領域、例：循環器学）の下流に存在する専門領域（Sub-sub speciality領域）の加盟申請を受領しない方針を明らかにしている。

そもそも専門医制度というのは、国民が専門的な知識や技術を迅速かつ適正に享受できるように、領域分野別に一定の基準を満たした医師や施設が認定される制度であり、より細分化した領域で生かされるべきものである。近年の医療の発展によりSub-speciality領域の専門医が、すべてのSub-sub speciality領域に関する最先端の知識や技術のある一定レベル以上に習得することは不可能と考えられることから、この機構の方針が維持されれば、真にニーズの高い専門医情報が提供されないことにも繋がる。

本セッションではこのような状況の中で、何故いま専門医制度を確立する必要があるのか考察したい。

〔座長〕松本 万夫 埼玉医科大学国際医療センター心臓内科

学会認定不整脈専門医制度について—何故、専門医制度が必要か？—

東海大学医学部付属八王子病院循環器内科 ○小林 義典